

「脱シーラー」宣言

ダイレクトコート

水系2液シリコン・シーラーレス屋根塗替え塗料

塗り替え対象屋根材

- ◎プレスセメント瓦・厚形スレート瓦
- ◎薄形化粧スレート
- ◎カラー鋼板
- ◎波形スレート(ノンアスベストタイプは除く)
- ◎アスファルトシングル

注意：塗り替え対象屋根材以外に
使用しないで下さい。

注：塗料では瓦の割れの補修及び防止は出来ませんので、
割れの発生している瓦への塗装は避けてください。
割れが発生している瓦は差し替えてから塗装してください。
また、凍破を防止することはできませんのでご注意ください。

特 長

①優れた耐候性

シリコン変性したウレタン反応基導入アクリル系ラテックスを主剤とし、水分散イソシアネートとの組み合わせによってシリコン～ウレタンの複合化をし、優れた耐候性を発揮します。

②優れた柔軟性と耐汚染性

エマルジョン粒子の中心部(コア)を柔らかく、外殻部(シェル)を硬くする「コア・シェル構造」にすることで、基材に対しての柔軟性と耐汚染性を両立させました。

③優れた浸透力と密着性

エマルジョン粒子を小径化することにより、脆弱な基材に対して優れた浸透力を発揮し、補強・固着することで密着性を向上させました。

④省力化・工期短縮化

カラーベストの塗り替え塗装時に必要とされてきた面倒なシーラー塗装を省け、省力化・施工工期の短縮を可能にする塗装仕様を実現しました。

⑤防カビ・防藻効果

ダイレクトコートは防藻・防カビ機能を付加させており、藻類、カビの育成による美観の低下や衛生面の悪化を長期にわたり、防止します。

用 途

◎新・旧セメント瓦の塗り替え塗装

◎薄形化粧スレート(カラーベスト、コロニアル等)の塗り替え塗装

◎波形スレート等の塗り替え塗装

※ノンアスベストへの御使用は、バックシールおよび両面の塗装の場合のみ可能となります。

◎アスファルトシングル等の塗り替え塗装

荷 姿

◎各 色 主剤 1.4kg + 硬化剤 1kg 合計1.5kgセット

// 主剤 4.2kg + 硬化剤 0.3kg 合計4.5kgセット

塗装面積

	希釈率	塗布量	塗布面積	塗装間隔
1回目	20～40%	0.13～0.16kg/m ²	40～50m ² 1.5kgセット/ 2回塗り	1～3時間 (20℃)
2回目	10～30%	0.17～0.20kg/m ²		
合 計	-----	0.30～0.36kg/m ²		

⑨アスファルトシングルの場合は吸い込みが多い為、塗装面積は半減します。

塗装工程

○プレスセメント瓦・波形スレート・カラーベスト・アスファルトシングル等の塗り替えの場合



○カラー鋼板(カラーベストの金属役物も同様)に錆のない場合



○カラー鋼板(カラーベストの金属役物も同様)に錆のある場合



※サビ止めプライマーは、ご使用される塗料の塗装仕様に従って施工して下さい。

塗料調合とポットライフ

主剤と硬化剤を合わせ、充分攪拌した後、水希釈して下さい。

ポットライフは約6時間(20℃雰囲気下)です。適量の調合をお願いします。

使用上の注意点

- ①被塗物表面が、雨や霜、露等で濡れている時は、十分に乾いてから塗装して下さい。又、被塗物及被塗物の形状によっては乾燥が遅い個所がありますのでご注意下さい。濡れた状態で塗装すると、フクレ、ハガレの原因になります。
- ②ハケ、ローラーで銀色系を塗装する場合、仕上がりが悪くなります。
- ③被塗物に付いているゴミ、ホコリ、苔等を充分にデッキブラシでケレンして下さい。
- ④被塗物表面が脆弱化している場合は、回転ブラシ、サンダー等で脆弱層を充分に除去して下さい。
- ⑤ケレン及び下地調整後は、必ず水洗して下さい。水洗後は十分に乾燥させて下さい。
- ⑥ダイレクトコートは他の塗料と相溶性がありませんので絶対に混合しないで下さい。
- ⑦エアレス塗装機及びホース内に残っているシンナー類は完全に除去し水洗いしてから、ダイレクトコートを吸わせるようにして下さい。シンナーが残っているとゲル化しますのでご注意下さい。
- ⑧朝・夕の結露時期、被塗物が異常に高温の時、降雪雨の予想される時は塗装を避けて下さい。
- ⑨塗装後、24時間以内に気温が5℃以下になると予想される場合は塗装を避けて下さい。
- ⑩塗装ミストの飛散により周辺を汚しトラブルとなる事があります。塗装ミストが隣近所に飛散しないように充分な養生を行って下さい。
- ⑪ガムテープ剥離試験で、剥離する塗膜は必ずケレン除去して下さい。
- ⑫塗装後、上下の瓦が塗料で接着している場合は、縁切りして下さい。通気が悪くなり、素材の腐敗につながるおそれがあります。

安全衛生上の注意事項

『注意事項』下記の注意を守ってご使用下さい。

1. 容器からこぼれた場合には、砂などを散布したのち処理して下さい。
2. 取り扱い後は、手洗い及びうがいを充分に行ってください。
3. 目に入った場合には、多量の水で洗い、出来るだけ早く医師の診察を受けて下さい。
4. 誤って飲み込んだ場合には、出来るだけ早く医師の診察を受けて下さい。
5. よくフタをして、一定の場所に定めて貯蔵して下さい。
6. 子供の手の届かないところに保管して下さい。
7. 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
8. 皮膚に付着した場合は、多量の石鹼水で洗い落して下さい。
9. 容器はつり上げないで下さい。やむを得ずつり上げる時は、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意して下さい。

取扱いまたは使用に際し、製品安全データシート(SDS)を必ずお読み下さい。

® オリエンタル塗料工業株式会社

本社・工場 〒547-0001 大阪市平野区加美北4丁目5番38号

TEL (06)6791-4031番(代表)

FAX (06)6791-4034番

福岡営業所 〒814-0161 福岡市早良区飯倉3丁目29-8

TEL (092)831-2281

東日本営業所 〒343-0036 埼玉県越谷市三野宮476 ミルトクラール1番館102号

TEL (048)940-3927

ホームページ: <http://www.oriental-toryo.jp>

取扱店